



Subaru

男声合唱団 ニュース№686

19. 3. 22

訃報

長屋敏郎さん逝く！

3月19日



□3月19日(火)長屋敏郎さんが逝去されました。謹んでご逝去を悼み、痛恨のお別れとなりました。2005年昴入団後、低音部(バリトン・バス)の中心的存在として活躍され、1月の70周年記念うたごえ東京祭典では、「合唱発表会一般の部(B)」で昴のメンバーと共に「君死にたまふことなかれ」を、また「ヒューマン・フェスタ」の大祭典で、「国際交流ステージ 東アジアの友好と連帯」で「平和の花 紫金草」を「関西紫金草合唱団・男声合唱団昴」の団員としてステージに立たれました。また2月22日(金)いずみホールで開催された「千秋昌弘&男声合唱団昴ジョイントコンサート」にも、出張の多い仕事と両立の努力をされて、強化レッスンにも参加され、舞台に立つための熱心な努力をされていた、そのさなかでの急病(急性間質性肺炎)・入院・治療となられ、コンサートの参加は残念ながら叶わず、その後の元気な復帰を団員一同待ち望んでいる中での急逝となりました。



□3月21日(木)11時からの告別式(ベルホール真美ヶ丘・奈良県上牧町)に、昴から27名が参列しました。(関西紫金草合唱団からも参列されました。また前日のお通夜に団員2名が参列)。住職の読経・焼香・告別式の最後に、お別れの歌として「朝露」(長屋さんが好きだった曲・時間の関係で日本語のみ)、「このみち」の2曲を、本並先生の指揮、森二三さんのキーボード伴奏で合唱しました。(昴を愛してやまなかった故人のために昴の歌を歌っ

てほしいとの奥さんからのご希望でもあります。) 車での見送りの中を「昂」の歌を「さらば!すばるよ」と歌い、惜別しました。

長屋 敏郎さん 1946年8月25日生まれ 72歳
所属は男声合唱団昂と関西紫金草合唱団でした。
昂には2005年7月17日、岡山県蒜山での合宿時に入団
昂では広報部の一員として活動されていました。
週に3~4日 ISO50001の講師などされていました。
個人的には、難しい文章の添削などお願いしていました。(岡邑)

「各位 本日は何かと忙しい中、遠路はるばるご苦労様でした。
長屋さんの奥さんからお礼の電話がありました。
「お寺さんも、近所から来てくれた人も昂の演奏に感激した」との事です。
この日の参加27名でした。 2019.3.21 (岡邑)」

「岡邑様

今日のご苦労様でした。症状をいち早く察知し、何回も情報を伝えてくだされ、
又本日の葬儀の準備はばんたんで、滞りなく、立派な追悼となりました。
それにしても男声合唱団「昂」27名の参列、友の受難には敬愛を持って送る。これはすごいこと
です。

(順番が違う、失礼!) 藤後博巳老師も参列され!感激しています。
皆さんのこの思いは、男声合唱団「昂」「紫金草合唱団」他の合唱団、共々歌うことへ喜びと誇り、
又人間として生きる苦悩との闘い、友情、団結があったからこそと思います。
彼は、奥さんと一緒に7月エストニアはタリンでの世界最大の合唱祭への参加を人生最大の家族サ
ービスにしていました。
一歩寸前で倒れられ、本当に残念でなりません。もし参加出来ていたら、健康も取り戻せたかも知
れません。

長屋さん、さようなら! 本並美德
奥様にもよろしくお伝えください。 (メールにて、転載しました。広報部)

